

市民と議会の意見交換会

意見交換会とは？

意見交換会とは、市民と議員が市の政策や課題について直接意見を交換する場です。これにより、市民の声を反映した政策立案の強化と政策提案の拡大を図ることを目的としています。八女市議会では、市民と地区別に行われるもの（※地区別意見交換会）と、分野を決めて意見交換するもの（※分野別意見交換会）があります。

意見交換会の目的と背景

今回は、各常任委員会がテーマを選定し、各団体および参加された市民の方と**分野別意見交換会**を行いました。テーマに沿って、課題や政策について市民の声を直接聞き、議員の政策立案能力を強化するための重要な機会となりました。意見交換会で出されたご意見・ご要望等の一部を紹介します。



厚生常任委員会



総務文教常任委員会



建設経済常任委員会

各常任委員会の選定テーマと意見交換をした団体

◆厚生常任委員会 （10月29日、黒木地域交流センター）

テーマ：八女市シニアクラブの現状と活性化対策について 団体：八女市シニアクラブ連合会

◆総務文教常任委員会 （11月13日、おりなす八女）

テーマ：学校教育について 団体：八女市PTA連合会

◆建設経済常任委員会 （11月20日、農業活性化センター）

テーマ：地域の農林業の課題について 団体：AFC会長会 農協青年部 八女森林組合 猟友会

各テーマでのご意見・ご要望

学校教育

学校設備（体育館のエアコンや洋式トイレ等）の整備および登下校ルートの防犯カメラ設置助成に関する要望が寄せられた。また、タブレットを活用したICT教育や個別最適化学習など、時代に沿った教育環境づくりが必要との意見が出された。その他に、子どもたちが安全に遊ぶ場所の確保や学校教職員の人手不足、危険箇所の改善要望等の意見が交わされた。

シニアクラブの会員減少

コロナ禍による会員減少が続き、その影響により役員のなり手も不足している。現行の体制では運営の維持が困難な地区もある。役員の負担を会員全員で分け合うような新たな仕組みづくりが必要である。また、フレイル予防や社会参加の場としての役割は重要であり、今後も情報発信や多世代連携、地域間の協力が継続の鍵である。

林業の担い手育成

林業従事者が減少していく中で、八女市の広大な森林を維持していくためには、新たな担い手の育成が重要である。国や県が実施する研修制度の活用や、新たな技術・スマート林業の導入は必要な取り組みであり、支援の強化を求める。

農業の事業継承

農業従事者の高齢化で解散する組織が相次ぎ、事業継承は大きな課題となっている。特に農機具のオペレーター不足が深刻で、地域農業の維持に影響が出始めている。地域計画を利用した集落営農の機能強化を進めてもらいたい。

市民団体「男女が輝くネットワークやめ」との 意見交換会

実施の背景

市民団体「男女が輝くネットワークやめ」からの申し出を受け、「八女市各分野のジェンダー平等と次世代育成」をテーマに意見交換会を開催しました。「第5次八女市男女共同参画行動計画」の内容確認と問題提起が行われ、「議会・農業・自治会・子育て支援」等について、多くの有意義な意見が交わされました。

以下、問題提起の内容の一部を紹介します。



問題提起の内容

市民 男らしさや女らしさという固定的な役割分担方式が、性別によって、こうあるべきという固定観念を生んでいる。こうした固定観念が職場や風土、制度にまで波及している現状を変えていく、意識改革が必要ではないか。

市民 教育現場、特に幼児教育の段階から、ジェンダーギャップに関する教育は、ほとんど行われていない。八女市での課題を整理し、戦略的かつ具体的に改革を実行に移す必要性を感じている。